



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

奇数月1日発行
編集発行人 勝野 堅介

善行は、社会を
照らすともしび。

令和8年度 春季・特別善行表彰受賞者決まる

春季 112の個人・団体を表彰 金章 44名・銀章 90名受賞

《春季善行・特別善行表彰選考委員会》

令和八年度春季善行表彰選考委員会は、令和八年三月十八日(水)、グランドヒル市ヶ谷会議室において開催した。選考委員会には、富士道正尋氏(全日本中学校長会事務局長)、松信裕氏(株式会社有隣堂代表取締役会長)、宮本久也氏(全国高等学校長協会 事務局長)、眞尾博氏(支部長代表 栃木県南支部長)、相澤・高田・山下副会長、島村・石毛常務理事が出席した。(黒澤猛・松本力ネ子常務理事は書面により参加。)

出席者の互選により富士道正尋委員が選考委員長に選任され、各支部及び諸官庁等から推薦された春季善行表彰の候補者について厳正な審査が行われた。

結果、別掲の個人七十二名及び団体四十の



計百十二の個人・団体が受賞者に選ばれた。また、引き続き開催された常務理事会において、特別善行表彰選考委員会を開催し、各支部をはじめ多くの推薦機関から推薦された候補者について、審査が行われ、別掲の善行金章四十四名、善行銀章九十名が決定した。

なお、春季・特別善行表彰式は、五月十六日(土)、午後一時から明治神宮参集殿において開催される予定である。

I 青少年善行表彰

(敬称略)

公共生活への貢献

(北海道) 北海道標津高等学校、北海道厚岸翔洋高等学校ボランティア部(宮城県) 大崎市立三本木中学校生徒会(栃木県) 宇都宮リーダースクラブ(栃木県) 宇都宮リーダースクラブ(群馬県) 松井田高校ボランティアクラブ、高崎市立南陽台小学校(千葉県) 高田竜成(東京都) 辻川望、佐久間賢登、北城宏之、伊藤醒司、藤井智城、土屋雄治、東京都北区立赤羽台西小学校、東京都北区立西が丘小学校、東京都北区立桐ヶ丘郷小学校、久保樹(静岡県) 井上天海(兵庫県) 兵庫県立尼崎小田高等学校あまおだ地域応援隊看護医療・健康類型、加西市立宇仁小学校3年生(愛媛県) 四国中央市三島南中学校気象部(熊本県) 菊池市立旭志中学校、氷川町ジュニア・リーダー、上田和葉、尾方美来、本多咲夢、西田芹奈、熊本県立小川工業高等学校JRCサークル、嶋田実桜(沖縄県) 黄金わらび

事故防止

(宮城県) 仙台市立長町小学校交通安全団(埼玉県) 秩父市立秩父第一小学校交通安全自転車チーム(東京都) 横塚龍、岩崎大樹、林優生乃、西東京市交通安全団(高知県) 室戸高校地域安全協力隊(熊本県) ボウハンティア

環境美化

(北海道) 北海道余市紅志高等学校(青森県) 加藤優真(宮城県) 仙台市立金剛沢小学校三神峯・天沼公園の環境を守る会、仙台市立富沢小学校、仙台市立富沢小学校、中越高等学校野球部(富山県) 県立富山学園有志の会(長崎県) 長崎県立五島高等学校インターアクト部(熊本県) 熊本県立大津高等学校男子サッカー部

青少年指導

(宮城県) 宮城県利府町十符っ子ブラザーシップ(群馬県) 山中康晴、齋藤美結(東京都) 横田樹、小川原菜那、荒川消防少年団、尾久交通少年団、植野龍之丞、野中響、野中優本橋優希、浅野葉南(神奈川県) 藤井和樹、杉谷はな(高知県) 松本鈴花(沖縄県) 学習支援学生団体「はびちる」

社会福祉

(宮城県) 聖ウルスラ学院英智高等学校生徒会(新潟県) 日本語サークル「くりはら」(静岡県) 平出利之、矢岸克行、遠藤正幸、望月真弓

自然と文化財愛護

(東京都) 第六日暮里小学校伝統文化委員会

緊急時貢献表彰

II 緊急時貢献表彰

(アメリカ) ボイス・ジョーンズ、ダネア・ロイド、メドウ・トゥーティース、テラー・スレーター、アンジェリーナ・ルイス

防火

(岩手県) 北條史人、佐々木大輔、高橋健太(東京都) 岡本あずさ、館野正実、(島根県) 株式会社山崎組、稗田産業有限会社(沖縄県) 鉢嶺佑

人命救助

(北海道) 松田海生(青森県) 白川楓磨、加藤優真、齊藤逢那、吉村瑠心、小田桐美海、天間莉里愛、高橋柁(茨城県) 久米生真、芳賀文太(群馬県) 高柳春来、グエン・チュンティン、茂呂居有(千葉県) 池田萌乃、村主心美、緒方樹里、松雪芽唯(静岡県) 静岡市オフロードバイク隊(兵庫県) 竹内幹雄(熊本県) 澤田大和、澤田あこ、澤田りこ、あさざり中学校剣道部、末廣和揮、高田竜雅、夏原功至、田上和輝、齋藤颯斗(大分県) 菅颯仁

IV 外国人善行表彰

恭子、江岸利信、高橋利一、阿部ゆり子(青森県) 傳法谷公二(岩手県) 伊東恵子、熊谷和子、武田和子(宮城県) 内海運雄、玉川妙子、板橋肇子、佐々木琴世、千葉均、豊嶋正江、高橋清子、大内洋子、遠藤尚武(群馬県) 松岡克也、桑原明、中沢幸子、高橋和子、田口常信、本多真理子、高橋吉秋、富澤久雄、仲澤すみ江、中澤悦子、小林政夫、藤川栄、森下健二(埼玉県) 田嶋敬子(千葉県) 秋原勲、柳川美幸(東京都) 森永繁寅、川上彰、倉持忠雄、阿部勝子、田辺和子、石井幸雄、千住きよ子、戸田和司、当房秀俊、田中可津子(神奈川県) 佐藤健一、加藤雅喜(福井県) 笠嶋義憲、矢野勇(岐阜県) 林達也、米澤誠二、前田師伯(静岡県) 山崎憲行、中安幸一、伊藤雄彦(愛知県) 加藤三枝子、橋本りょう子、伊奈史年(大阪府) 安達良夫、阿江敏行、武智博子、山口茂(兵庫県) 濱崎雅子、大村哲郎、内山恭昌、奥久雄、播口久子、植田延生(岡山県) 小川大右、岸部貴之(広島県) 内山幸光(香川県) 池上宏(愛媛県) 田中静江(福岡県) 長野秀明、森田福好、安部峰子、富永慎一、高田光(佐賀県) 川添政徳、中武友子(熊本県) 中嶋和世、園田正弘、中園久道(大分県) 堀恵子、中野護勝、岩光侃、高野早苗、牧野伸浩(沖縄県) 當山幸宏、渡慶次葉末子、知念範紺

善行金章四十四名

(北海道) 西館喜代子、伊藤博志、品田忠、谷藤彌(岩手県) 和賀八代子(宮城県) 小池重治、本郷祐子、菅野けい子、鈴木英子、佐々木いみ子(茨城県) 石川誠人(群馬県) 吉本賢二、樋山敏男、津久井信次、飯塚祐子、角田秀夫、松本憲吾、曾我幸治、小菅正(埼玉県) 幸野千恵子(千葉県) 細谷菜穂子(東京都) 松澤育男、四分一明彦、久保猛、野田兼惟(神奈川県) 山鼻昭夫(石川県) 酒井信治(福井県) 中川満(静岡県) 高路由起保、袴田貞夫(愛知県) 佐久間春生、新美三枝(三重県) 大家正伸(大阪府) 恵島明、城島末明(兵庫県) 宮村文隆、橋本新一郎、四方玲子(香川県) 大森岳司(愛媛県) 浅井正廣(福岡県) 原田享純、梶原孝文(熊本県) 山本文市、鶴長フタエ

善行銀章九十名

(北海道) 宮末政則、高橋

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。

支部だより

福岡県筑後支部

令和七年度 秋季善行表彰伝達式

福岡県筑後支部長
山中 洋一

令和七年十二月十三日(土)実施。
来賓の福岡県議会議員 梶島徳博氏からの祝辞、伝達式で賞状と記念品を授与された受賞者三名の方は、感無量の様子



でした。

受賞者の 喜びの声

●●● 秋季表彰 ●●●

秋季善行表彰を 受賞して

岐阜県安八町

水取誠心会

坂口 徹



昨年十一月二十九日(土)、日本善行会様より表彰を賜り、誠にありがとうございました。水取誠心会を代表いたしました。心より御礼申し上げます。このたびの表彰は、私も会員一同が地域の皆様と共に取組んできた活動

を評価いただいたものと深く感謝しております。水取誠心会は、昭和三十三年の発足以来、地域に根ざし、清掃活動をはじめ、地域のお祭りへの協力や敬老会の開催など、身近な行事を通じた地域貢献を続けてまいりました。小さな活動ではありますが、人と人とのつながりを大切にしながら、地域の安心と活力に寄与できればと思います。取り組んでおります。今回の表彰を励みに今後も地域社会に寄り添い、誠実な活動を継続してまいります。改めまして、日本善行会に深く感謝申し上げます。



佐賀県唐津支部

令和七年度 秋季善行表彰伝達式

佐賀県唐津支部長
藤元 秀幸

令和八年一月二十九日(木)午後五時三十分から、唐津市役所・大会議室において実施。
ご来賓に峰唐津市長、栗原教育長、中山教育部長のご臨席を賜り、またメディアア三社も取材に来て頂き、厳かに伝達式を行いました。

藤元支部長の挨拶で、唐津市にも表彰制度があるが、善行会の私達は行政の制度が届かない善行者を表彰して、唐津市と共にこの表彰制度により、笑顔で市民が善

沖縄県支部

令和七年度特別善行 表彰・秋季善行表彰 伝達式

沖縄県支部事務局長
金城 守



令和八年二月二十三日(月)、琉球新報本社に

岩手県支部

千羽鶴贈呈式と交通安全啓発運動開始式

岩手県支部長
岩間 明雄

行している市として、これからも継続していきますと力強く宣言。
また、佐賀県唐津市にも支部を立ち上げる準備をして、今年夏には発足出来る見通しを宣言しました。四名の受賞者は、それぞれ喜びの謝辞を述べました。峰市長からは、善行会活動への感謝の言葉を戴きました。



令和七年九月二十四日(水)午前七時半から、盛岡警察署管内の都南総合支所において、交通安全千羽鶴贈呈式と秋の交通安全啓発運動開始式が開催され、日本善行会岩手県支部より、交通安全協会と交通安全母の会に「千羽鶴」を贈呈しました。
「千羽鶴」は、日本善行会本部から提供の折り紙を岩手県支部の会員が心を込めて、数ヶ月の日程を要し作成したもので、都南総合支所の正面玄関ホールに設置しております。



所用で都南総合支所に訪れる市民の皆さんに「千羽鶴」が羽ばたきながら交通事故防止を呼びかけております。
啓発活動拠点の近隣の住民や高齢者の方等、子供達にも声をかけて元気と絆を頂いております。

群馬県北毛支部

児童養護施設への 餅つき慰問の実施

群馬県北毛支部長
高岸 哲

令和七年十一月七日(日)午前、支部発足以来継続している「児童養護施設への餅つき慰問」を実施いたしました。今回で第二十二回目となります。午前十時から午後一時

において実施。
令和七年度銀章三名、秋季善行表彰七名受賞。沖縄県支部といたしました。今度も、今回の表彰を励みとし、今後も善行の輪を広げ、地域社会への貢献に努めてまいります。

まで、高岸支部長以下、会員三十五名が参加。餅米、あんこ、きな粉、大根、さつまいもなどの食材や、臼・杵を持ち込み、施設の子供たち約五十名と職員の皆様とともに準備を進めました。
餅米が蒸し上がると、臼を囲んで「よいしょ!よいしょ!」と元気な掛け声が響き、三十キロの餅米が次々につき上がりました。会員の動きを真似して笑い合う子供たちや、大きな杵を一生懸命に振るう幼い子の姿に、会場は終始和やかな雰囲気になりました。
つきたての餅は、大福、きな粉餅、からみ餅、納豆餅などに仕上げられ、子供たちは「美味しい!」と笑顔で頬張っていました。最後に、高岸支部長からマスクと靴下のクリスマスプレゼントが贈ら



れ、会は大いに盛り上がりました。
この慰問を通じて、子供たちや職員の皆様と心温まる交流ができ、充実した一日となりました。

台東区支部

交通安全協会・交通安全母の会や関係者の皆さんと地域の方々の絆がより深まり、安全で安心な地域社会になればと皆さんと啓発活動に精進しております。

台東区支部長
轟 豊藏

台東区支部 納涼船懇親会

台東区支部長
轟 豊藏

令和七年九月十九日(金)、台東区支部では会員間の親睦をはかるため、蔵前の鮎店「駒形」が運営する屋形船を貸切り、納涼会を開催した。
当日は、総勢十八名での記念撮影後に乗船し、梶原浩介台東区副支部長の司会により会が始まり、主催者を代表し轟支部長が「皆さんの努力と協力をいただき会員増強に取り組み、一致団結した活発な会に育てたい」と挨拶、続いて、ご来賓として本部の勝野堅介会長より励ましのお言葉を、次いでご来賓の寺田

晃区議会議員からも心のこもったご挨拶をいただいた。
寿地区町会連合会名誉会長鈴木米治様、花川戸一丁目町会長松村輝彦様、浅草駒形南町会長山田達様、お三方の紹介後、皆で乾杯し、鮮やかな海風とダイヤモンドに輝く高層ビル街の夜景を鑑賞しながら美味しいお料理とお酒の宴が開始された。楽しい時間が過ぎたのち、中締めを河原祥雄台東区副支部長が行い、松村輝彦花川戸一丁目町会長の三本締めにて会はお開きとなった。
少し秋の気配も感じられる爽やかな日に、会員相互の親睦がより深まり、充実した会となった。



大分県竹田支部

大分市佐賀関の 大規模火災を受けて

大分県竹田支部
事務局 後藤 建一

平成七年十二月二十日(土)、大分市佐賀関の大規模火災を受けて、市内拝田原のスーパー「フレッシュ竹田店」で、会員八名で募金箱を手に被災地への協力を呼びかけまし



善意で集められた義援金は、竹田市社会福祉協議会を通じて被災地へ送られました。

日本善行会のこれまで③

理事 小島 力

東京交通会館

善行会の事務所は、戦後、新橋の旧・柴田村町、品川区五反田、中央区銀座西、東京都民室庶務課内、広報渉外局広報部内、都庁七号館を経て、昭和三十七年から有楽町の都庁東三号館にありましたが、都庁の有楽町から新宿西口の新庁舎への移転に伴い、平成九年六月、道路を挟んで向かいの東京交通会館に移りました。それ以来、今日まで善行会本部事務局として三、四名のスタッフが常駐し、善行会活動の根拠地となっております。

有楽町の交通会館と聞けば都心の一等地であり、どんな素晴らしいオフィスかと思われませんが、エレベータで地下四階に降りて、すぐ前のドアが入り口ですが、さらに入り口から階段で十五段ほど上がった所にあります。窓もなく狭い事務所ですが、賃貸料は安く、善行会本部の事務所らしいのかもしれない。

特に、春・秋の善行表彰式、総会、ご接見等、本会主要行事の前後には長テーブルの上は資料等でいっぱいになり、事務局員が準備に楽しく奮闘しています。

都庁移転前の昼食時には、都庁の地下食堂や、有楽町駅周辺の多くの食堂、特に交通会館の地下食堂は都職員、都庁への来庁者の方々に大混雑でしたが、都庁移転後はすつ

かり空くようになったことが、印象に残っています。今年四月に本部事務所の空調設備の取替え工事が行われ、これまで溜まっていた書類等もかなり整理されました。機会があれば一度本部事務所や近くの飲食店に来てみてください。

今年四月に本部事務所の空調設備の取替え工事が行われ、これまで溜まっていた書類等もかなり整理されました。機会があれば一度本部事務所や近くの飲食店に来てみてください。



有楽町駅と新幹線



東京交通会館外観



同地下4階の国会入口



地下1階の「横っちょ横丁」



東京交通会館地下1階

ふる里自慢

大分県竹田支部

事務局 後藤 建一

私たち自慢の竹田市は、大分県の南西部に位置し、くじゅう連山、祖母傾(そぼかたむき)山麓に囲まれた地にあり、東は豊後大野市と大分市、西は熊本県、南は宮崎県、北は九重町と由布市に接しています。

また、大野川の源流を有しており、一日に数万吨の湧出量ともいわれる湧水群を誇る水と緑があるふる里自然豊かな地域です。山々から湧き出る豊かな名水は、全国的にも知られ、下流域の多くの人々の生活を支えています。本市では、こうした大自然の恵みを生かした農業や観光が基幹産業となっております。

農業は、米を中心に、大分県の特産品であるカボスや椎茸、トマトやスイートコーンといった野菜、サフランをはじめとする花き、肉用の豊後牛などを生産しています。

観光では、荒城の月のモチーフになった岡城跡、滝廉太郎記念館、武家屋敷などの史跡や文化財、絶え間なくこんこんと湧き出る竹田湧水群や

白水の滝、さらには日本一の炭酸泉といわれる長湯温泉、竹田市久住町を拠点に活動する和太鼓演奏グループドラム・タオ、開放感あふれる雄大な久住高原を訪れた人たちを魅了しています。

また先月、「竹田のかんがい用水群」が、世界かんがい施設遺産として認定されました。魅力あふれる竹田市に一度足を運んでください。



竹田の姫だるま

竹田氏の無形文化財。旧岡藩由来の姫だるま。家庭円満や商売繁盛の願いを込めて親しまれている。現在は後藤家のお嫁さんの手で大切に引き継がれる伝統工芸品。ただ1軒のみで製作されている。

かんがい施設遺産 円形分水



音楽で繋ぐ平和と共生の心。
令和八年五月十六日(土)、
春季表彰式にて式町水晶氏が演奏(予定)



困難を乗り越え、音楽を通じて社会貢献に身を捧げる氏の歩みは、まさに善行の精神を体現されています。演奏を前に、そのプロフィールをご紹介します。

二〇一八年二十一歳でキングレコードよりメジャーデビューを果たし、二〇二一年には東京パラリンピック閉会式での演奏を経験。また、二〇二三年八月十七日には京都・清水寺にて世界平和奉納演奏を行う。

一九九六年北海道旭川市生まれ。
「脳性まひ」と闘うプロヴァイオリニスト。

東日本大震災の津波に耐えた陸前高田奇跡の一本松と被災地に残された瓦礫や家具を再利用して作られた「津波ヴァイオリン」を所持し演奏することを託された。

「障がい者と健常者の垣根を越え、より多くの人々に夢や希望を贈りたい」との思いで、被災地をはじめ全国各地で社会貢献活動を実施。コン

実現したいのは、「平和・公正な社会」。「人々の癒し、鼓舞する音楽を届けること」を使命に、「教育・福祉・防災」の三本柱で、学校訪問、人権イベント、消防イベント等で演奏・講演の活動中。

令和七年度第四回理事会の開催

令和八年三月二十七日(金)、令和七年度第四回理事会がランドヒル市ケ谷内会議室で開催された。勝野会長が挨拶の後、勝野会長が議長となり議事に入った。

【決議事項】

第一号議案

「令和八年度事業計画及び収支予算」について
事務局から説明があり、質疑が行われ、それぞれ軽微な修正後議決された。併せて、令和七年度の事業報告及び収支決算速報の報告があった。

第二号議案

「春季・特別善行表彰式」について
事務局から説明があり、質疑が行われ、原案どおり議決された。表彰式を五月十六日(土)、明治神宮参集殿にて開催する。

第三号議案

「定時総会」について
事務局から説明があり、質疑が行われ、原案どおり議決された。定時総会を六月十九日(金)、ランドヒル市ケ谷にて開催する。

第四号議案

「定款の改正」について
本会定款の第三条(目的)及び第三十三條二項(議事録)の改正方針が原案どおり議決された。六月の定時総会にて決議予定。



第五号議案

「規程の制定・改正」について
役員職務執行費用支給規程の制定及び表彰規程の改正が原案どおり議決された。

第六号議案

「役員改選」について
会長から、令和八年度は役員改選時期にあたるため、その手続きを進める旨の説明と協力の要請があり、全員異議なく議決された。

【報告事項等】

令和七年度の常務理事の職務執行状況の報告及び令和八年度年間行事予定の説明があった。

その後、本会の運営に関して意見交換を行い、会員増強について東京都板橋支部の四分一支部長、大分県の松井理事による取り組みの紹介があった。また引き続き、財政検討委員会が開かれ、協賛企業の強化策、支部紹介による地域名産品取り組みの強化等の意見が出された。

令和八年度事業計画

令和八年三月二十七日(金)に令和八年度第四回理事会が開催され、令和八年度事業計画及び収支予算が左記の通り承認された。

一 表彰による善行活動の推進

本会の春季・秋季善行表彰は、今年度で七十六回目となり、前年度までの表彰総数は五一、一五七件に達している。この善行表彰を受賞した多くの方々は、引き続き各地で善行活動を実践し、善行の輪を各地域に広げている。

また、春季及び秋季表彰に加えて、永年にわたって善行を継続している善行表彰受賞者への特別表彰(金章・銀章表彰)を昭和三七年以降実施し、これまでに金章受賞者は五三六人、銀章受賞者は二、二二三人となっている。

(一) 春季・特別善行表彰

実施時期 令和八年
五月一六日(土)
実施場所 明治神宮参集殿

(二) 秋季善行表彰

実施時期 令和八年
十一月二八日(土)
実施場所 明治神宮参集殿

二 善行実践活動の推進

社会を善行実践活動は、社会を明るくする原動力であり、会の組織を挙げ、また、地域住民とも連携して、これに取り組み、

善行の輪の拡大に努める。

三 長寿善行者の秋篠宮皇嗣殿下ご接見

この事業は、善行表彰受賞者が、秋篠宮皇嗣殿下からご接見の栄誉を賜る意義深いものである。皇太子同妃両殿下のご接見が昭和四五年九月に実現し、平成三〇年まで続けられ、令和となってからは秋篠宮皇嗣殿下のご接見となった。

四 広報啓発活動の充実

情報化時代を迎えた今日、月刊紙「明るいニュース」やホームページが果たしている役割は大きい。「明るいニュース」の記事やホームページの充実を図って、各支部及び会員との連携の強化に努める。

五 組織と財政基盤の強化

本会は、会員によって構成され、主に会員が拠出する会費によって運営されており、会員の増加が財政基盤の強化に直結している。また、事業を効果的に全国展開するためには、各都道府県に支部が設置される必要がある。

六 創立九十周年各種事業の準備

令和九年度に迎える日本善行会創立九十周年に向け、記念式典、広報事業、顕彰事業など、各種記念

行事の企画・調整・準備を進める。

七 諸会議の開催

本会の定款に定められている会議には、総会、理事会及び常務理事会がある。また、定款には定められていないものの、本会業務の連絡調整の場として支部長会が設けられている。

(一) 総会

開催時期 令和八年
六月一九日(金)
開催場所 ランドヒル市ケ谷

(二) 理事会

開催時期 令和八年五月
開催方法 書面(定款三三二条二項に基づきみなし決議)

第一回理事会

開催時期 令和八年五月
開催場所 ランドヒル市ケ谷

第二回理事会

開催時期 令和八年
六月一九日(金)
開催場所 ランドヒル市ケ谷

第三回理事会

開催時期 令和九年三月下旬予定
開催場所 ランドヒル市ケ谷

(三) 支部長会

開催時期 令和八年
六月一九日(金)
開催場所 ランドヒル市ケ谷

(四) 常務理事会

開催時期 随時

令和8年度収支予算書

単位：円

科目	予算額	科目	予算額
I. 事業活動収支の部		II. 投資活動収支の部	
1. 事業活動収入		1. 投資活動収入	
①会費収入	12,040,000	投資活動収入計	0
②寄付金品等収入	2,440,000	2. 投資活動支出	
③雑収入	380,000	特定資産取得支出	300,000
事業活動収入計	14,860,000	投資活動支出計	300,000
2. 事業活動支出		投資活動収支差額	-300,000
①事業費支出	18,702,000	III. 予備費支出	0
②管理費支出	6,910,000	当期収支差額	-11,052,000
事業活動支出計	25,612,000	前期繰越収支差額	92,955,547
事業活動収支差額	-10,752,000	次期繰越収支差額	81,903,547

菰樽(こもだる)

明治神宮にお参りして、「これ、なんだろう?」と思うもの、ありませんか? 原宿口から第一鳥居をくぐり、第二鳥居(大鳥居)に差し掛かるころ、参道右手にたくさん酒樽が積まれています。北は北海道から南は沖縄まで、約百八十社から二百二十本を超える菰樽は、全国の神社の中でも随一の奉納数ではないでしょうか。菰には酒造りにこめられた祈りと情熱

を表す意匠が凝らされ、そこに日本の心や美しさを感じるのでしょう。菰樽の前は記念撮影をされる方でいつも賑わっています。奉獻されているのは、ご縁をもって永年明治神宮に奉納いただいている甲東会(こうとうかい)・兵庫県灘にある酒造会社東京支店の会として結成され、名称は六甲山の「甲」と東京の「東」(由来)をはじめ、昭和三十八年に結成された明治神宮全国酒造敬神会会員、また全国各地の敬神の念篤い酒造家の皆様です。もちろん、飾り樽でするので、中身は入っておりません。毎年十二月下旬に、全国各地より届いた新しい菰樽に取り替えて、新年をお迎えしております。

参拝の際は、ぜひ皆様の出身地のお酒を探してみたいかがでしょうか。向かって右上が北海道、左下が沖縄と、日本地図をイメージした配置を心がけています(厳密ではありません)。奉獻されるお酒の銘柄が変わるものもありますので、違いをみつけていただくのも面白いかもしれません。 ※本記事は、明治神宮社務所発行の季刊誌「代々木」令和八年新年号(18頁)より、許可を得て転載・抜粋したものです。

情報通信と通じて技術と信頼で明日を拓く

YEC YAMAMOTO

山本電子工業株式会社

代表取締役 山本昌廣

本社 網走市駒場南7丁目5番11号
Tel:0152-44-5141 Fax: 0152-44-5853
釧路支店・旭川出張所

一般社団法人日本善行会

板橋支部

支部長 四分一 明彦

〒173-0012
東京都板橋区大和町 36-8 鈴正塗装工業(株)
Tel:03-3964-8832 Fax: 03-3964-7871

協賛広告